

身延山大学教員業績書

氏名	フリガナ	英字
村瀬 正光	ムラセ マサミツ	Murase Masamitsu

1. 学歴

年月	学校・学部・学科・専攻名
1996年3月	藤田保健衛生大学医学部医学科 卒業
2002年3月	藤田保健衛生大学大学院医学研究科博士課程 修了 博士(医学)
2008年3月	立正大学仏教学部宗学科 卒業
2011年3月	立正大学大学院文学研究科仏教学専攻 修士課程 修了 修士(文学)
	以上

2. 学位

学位名	取得年月	取得大学・機関
学士(仏教学)	2008年	立正大学
修士(文学)	2011年	立正大学
博士(医学)	2002年	藤田保健衛生大学

3. 職歴

就職年月	退職(異動)年月	機関名等
1996年4月	1998年3月	藤田保健衛生大学病院 研修医
1998年4月	2002年3月	藤田保健衛生大学医学部 腎内科学医師・大学院生
2002年4月	2004年3月	藤田保健衛生大学医学部 腎内科学助手
2004年4月	2006年3月	岐阜東濃厚生病院 内科
2007年4月	2009年3月	新潟 長岡西病院 緩和ケア科
2009年4月	2010年3月	新潟 長岡西病院 緩和ケア科 医長
2010年4月	2012年3月	新潟 長岡西病院 緩和ケア科 部長
2012年4月	2013年9月	藤田保健衛生大学医学部外科・緩和医療学 助教
2014年4月	現在に至る	泰友会病院 非常勤医師
2018年4月	現在に至る	みずほ在宅支援クリニック 非常勤医師
2014年4月	現在に至る	身延山大学仏教学部 特任准教授
2014年4月	現在に至る	身延山大学東洋文化研究所 研究員
2015年4月	現在に至る	立正大学日蓮教学研究所 研究員

4. 免許・資格

取得年月	取得免許・資格
1996年6月	医師免許
2002年1月	日本医師会認定産業医
2004年9月	日本学会認定内科医
2007年4月	日本腎臓学会腎臓専門医

2008年4月	日本透析医学会専門医
2012年9月	日本スピリチュアルケア学会 暫定指導資格認定
2019年10月	新潟県緩和ケア研修会 修了

5. 受賞等

年月	内容・機関等
2011年10月	四條学術奨励賞受賞 (立正大学 日蓮教学研究所)

6. 専攻分野

腎内科学	透析学	緩和医療学
医学一般	生死学	終末期医療学
日蓮教学		

7. 担当経験のある科目

医学一般Ⅰ	医学一般Ⅱ
医学一般Ⅲ	医学一般Ⅳ
人間の尊厳と自立	デス・エデュケーション
障害の理解Ⅱ	

8. 各種活動

年月～年月	学会・団体の機関名, 役職名等
(学内活動)	
(学会活動)	
	日本内科学会 会員
	日本腎臓学会 会員
	日本透析医学会 会員
	日本緩和医療学会 会員
	日本スピリチュアルケア学会 (資格制度運営委員) 会員
	日本宗教学会 会員
	日本印度学仏教学会 会員
	日本仏教学会 会員
(社会的活動)	
2002年～現在に至る	日本医師会認定産業医
2004年～現在に至る	日本学会認定内科医
2007年～現在に至る	日本腎臓学会腎臓専門医
2008年～現在に至る	日本透析医学会専門医

9. 研究業績(降順・☆印は査読有のもの)

著書・論文・研究発表等の別	題名, 掲載書・誌名等, 発行所又は発表場所, 発行又は発表年月
著書 04(単著)	
03(共著)	『対話・コミュニケーションから学ぶ スピリチュアルケアーことばと物語からの実践ー』診断と治療社 (pp.68~77) 2011年7月15日
	『伝心性院日遠著 千代見草』日蓮宗新聞社(全127頁) 2011年10月13日
論文 02(単著)	血液透析患者と下肢閉塞性動脈硬化症 [博士(医学)請求論文] 藤田学園医学会誌:臨時増刷第21巻第3号 (pp.783~812) 2002年12月
	「緩和ケア病棟における仏教者の評価ー遺族調査からー」[査読有]日本仏教社会福祉学会誌:42号 (pp.1~13) 2011年11月
	「日蓮聖人の病についての研究ー日蓮聖人の病と疫病との関係ー」、日蓮教学研究所紀要 第39号 (pp.204~211) 2012年3月
01(共著)	「糖尿病性腎症にα1ー遮断薬ドキサゾシンが及ぼす効果、α、β遮断薬との比較」Therapeutic Research:20巻6号 (pp.1987~1993)、Shikano Masahiro、Asano Shinsuke、Yoshimura Eiko、Koide shigehisa、Takeshi Kobayashi、Murase Masamitsu、他2名 1996年6月
	「直接灌流型吸着器の性能、及び生体適合性の評価」腎と透析:45巻6号 (pp.815~818) 村上和隆、村瀬正光、他12名 1998年12月
	「糖尿病性腎症にα1ー遮断薬ドキサゾシンが及ぼす効果、α、β遮断薬との比較」[査読有]Therapeutic Research:20巻6号 (pp.1987~1993) 1999年6月
	ステロイド療法により進行を抑えることができた Chinese Herbs nephropathy の1例 [査読有] 日本腎臓学会誌:42巻2号 (pp.66~72) 好村栄子、藤井幹子、小出滋久、村瀬正光、他11名 2000年2月
	「コレステロール塞栓症5症例のステロイドと血漿交換による治療経験」[査読有]日本腎臓学会誌:42巻2号 (pp.53~59) 長谷川みどり、川島司郎、鹿野昌彦、長谷川寛、富田亮、村上和隆、久志本浩子、勝又秀樹、鳥羽貴子、芳川博人、好村栄子、小出滋久、村瀬正光、他1名 2000年2月
	「慢性維持透析患者における鉄欠乏の指標としての網状赤血球ヘモグロビン量、血清トランスフェリンレセプター、低色素性赤血球比率、赤血球フェリチン測定の意義」[査読有]藤田学園医学会誌:25巻1号 (pp.67~73) 小出滋久、藤井幹子、村瀬正光、他17名 2001年9月
	透析患者における骨・関節周囲の軟部組織のMRI画像と透析アミロイド症の関連について [査読有] 藤田学園医学会誌:25巻2号 (pp.25~28) 浅野慎介、村瀬正光、他12名 2001年12月
	「持続的血液浄化療法、PMX、大腿切断術により救命し得た劇症型A群レンサ球菌感染症の1例」ICUとCCU:26巻別冊 (pp.252~253) 田村研治、川村奈穂子、小出滋久、村瀬正光 2002年2月
	「血液透析患者における鉄欠乏の指標としての網状赤血球ヘモグロビン量、低色素性血球率、血清トランスフェリンレセプター/血清鉄比の有用性」[査読有] 日本腎臓学会誌:44巻5号 (pp.435~463) 2002年7月
	「CAPD患者の栄養状態の評価 HD患者との比較」[査読有] 藤田学園医学会誌:26巻1号 (pp.41~45) 2002年9月
	「経口ビタミンDパルス療法抵抗性のCAPD患者3例に対するマキサカルシトールの使用経験」腎と透析:53巻別冊 腹膜透析2002 (pp.274~276) 2002年9月
	「持続血液濾過療法(CHF)を施行し救命し得た重症肺炎、敗血症性多臓器不全の2例」ICUとCCU:27巻別冊 (pp.182~184) 2003年2月
	「顕微鏡的多発血管炎の治療における顆粒球アフェレーシス及び白血球アフェレーシスの効果」[査読有] Therapeutic Apheresis and Dialysis:8巻3号 (pp.212~216) 2004年6月
	「CAPD患者におけるMaxacalcitol腹腔内投与の副甲状腺ホルモン分泌抑制効果」[査読有]Clinical and Experimental Nephrology:8巻2号 (pp.134~138) 2004年6月
	「生体適合性 腹膜透析バックから流出するフタル酸エステルの検討」腎と透析:57巻別冊 腹膜透析2004 (pp.453~455) 2004年7月
	「利尿剤負荷試験で診断したGitelman症候群の一例」[査読有] 藤田学園医学会誌:28巻1号 (pp.101~105) 2004年10月 川村奈穂子、春日井雅美、藤井幹子、村瀬正光、他8名
	Murakami Kazutaka、Miyachi Hiromi、Watanabe Asako、Kawamura Nahoko、Fujii Mikiko、Koide Shigehisa、Murase masamitsu、他5名「生体適合性 腹膜透析バックから流出するフタル酸エステルの検討」腎と透析:57巻別冊 腹膜透析2004 (pp.453~455)、2004年6月
	Hasegawa Midori、Kawamura Nahoko、Murase Masamitsu、他7名「*顕微鏡的多発血管炎の治療における顆粒球アフェレーシス及び白血球アフェレーシスの効果」Therapeutic Apheresis and Dialysis:8巻3号 (pp.212~216)、2004年6月
	『伝心性院日遠著 千代見草』日蓮宗新聞社(全127頁)、柴田寛彦・秦孝悦・金光浄訳、村瀬正光編集 2011年7月

	『対話・コミュニケーションから学ぶ スピリチュアルケア—ことばと物語からの実践—』診断と治療社 (pp68~77)、谷田憲俊、大下大圓、伊藤高章編 2011年10月
学会発表 03(単独)	透析患者の終末期の現状について」 仏教看護・ビハーラ学会第3回年次大会 (千葉) 2007年8月
	「終末期における僧侶の関わりについて」 第32回日本死の臨床研究会年次大会 (札幌) 2008年10月
	長岡西病院ビハーラ病棟での宗教者の関わり—朝夕の勤行参加者からみえてくるもの—」 日本仏教社会福祉学会第44回大会 (千葉) 2009年9月
02(共同)	「宗教施設 (仏堂) が持つスピリチュアル—緩和ケア病棟の遺族調査から—」 第3回日本スピリチュアルケア学会 (札幌) 2010年9月
	「急性腎不全を呈し、血漿交換療法が有効であった慢性B型肝炎に合併したクリオグロブリン血症の1例」 第28回日本腎臓学会西部学術大会 (奈良)、 <u>村瀬正光</u> 、他14名 1998年10月
	「PTCA、胸部大動脈瘤術後に腎機能障害で発症したコレステロール結晶塞栓症の1例」 第28回日本腎臓学会西部学術大会 (奈良)、小出滋久、小林武史、 <u>村瀬正光</u> 、他12名 1998年10月
	「特発性浮腫の1例」 第28回日本腎臓学会西部学術大会 (奈良)、好村栄子、 <u>村瀬正光</u> 、他13名 1998年10月
	「当院及び関連施設におけるCAPD患者の栄養状態、脂質代謝、骨代謝の評価 (HD患者との比較)」 第44回日本透析医学会学術集会 (横浜) 1999年6月
	「当院及び関連施設におけるCAPD患者の栄養状態、脂質代謝、骨代謝の評価 (HD患者との比較)」 第44回日本透析医学会学術集会 (横浜)、 <u>村瀬正光</u> 、他11名 1999年6月
	「維持透析患者における鉄動態の指標としてChR、HRC、RCFerに関する検討」 第44回日本透析医学会学術集会 (横浜)、小出滋久、 <u>村瀬正光</u> 、他9名 1999年6月
	「各種糸球体疾患におけるアンギオテンシン変換酵素阻害剤 (ACEI) 負荷試験の診断的意義 (第2報)」 第42回日本腎臓学会学術総会 (横浜)、好村栄子、 <u>村瀬正光</u> 、他13名 1999年6月
	「各種糸球体疾患におけるアンギオテンシン変換酵素阻害剤 (ACEI) 負荷試験の診断的意義 (第3報)」 第43回日本腎臓学会学術総会 (名古屋)、好村栄子、勝又秀樹、藤井幹子、 <u>村瀬正光</u> 、他6名 2000年5月
	「維持透析患者におけるレプチンと各栄養指標との関連について」 第45回日本透析医学会学術集会 (福岡) <u>村瀬正光</u> 、他8名 2000年6月
	「糖尿病性腎症と閉塞性動脈硬化症」 第44回日本腎臓学会学術大会 (東京)、 <u>村瀬正光</u> 、他10名 2001年5月
	「急性腎不全の予後指標としての血清肝細胞増殖因子 (HGF)」 第44回日本腎臓学会学術大会 (東京)、鹿野昌彦、 <u>村瀬正光</u> 、他9名 2001年5月
	「移植腎巣状糸球体硬化病変の検討」 第44回日本腎臓学会学術大会 (東京)、浅野慎介、富田亮、 <u>村瀬正光</u> 、他8名 2001年5月
	閉塞性動脈硬化症について」 第46回日本透析医学会学術集会 (大阪) 2001年6月
	「閉塞性動脈硬化症について」 第46回日本透析医学会学術集会 (大阪)、 <u>村瀬正光</u> 、他8名 2001年
	「維持透析患者の網状赤血球ヘモグロビン量と低色素性赤血球に関する検討」 第46回日本透析医学会学術集会 (大阪)、小出滋久、 <u>村瀬正光</u> 、他10名 2001年10月
	「骨髄移植後にみられた腎障害の3例」 第31回日本腎臓学会西部学術大会 (金沢)、鳥羽貴子、川村奈穂子、 <u>村瀬正光</u> 、他8名 2001年10月
	「心嚢液貯留をきたし強皮症MPO-ANCA関連腎炎の一例」 第31回日本腎臓学会西部学術大会 (金沢)、川村奈穂子、 <u>村瀬正光</u> 、他9名 2001年10月
	「透析患者の閉塞性動脈硬化症 (ASO) と炎症マーカー」 第45回日本腎臓学会学術大会 (大阪)、 <u>村瀬正光</u> 、他10名 2002年5月
	「ANCA関連血管炎における末梢血活性酸素産生能の検討」 第45回日本腎臓学会学術大会 (大阪)、川村奈穂子、小出滋久、 <u>村瀬正光</u> 、他9名 2002年5月
	「血液透析患者における下肢閉塞性動脈硬化症の頻度」 第47回日本透析医学会学術集会 (東京) 2002年7月
	「透析患者における閉塞性動脈硬化症 (ASO)」 第49回日本透析医学会学術集会 (神戸) 2004年6月
	「血液透析患者における下肢閉塞性動脈硬化症の頻度」 第47回日本透析医学会学術集会 (東京)、 <u>村瀬正光</u> 、他10名 2002年7月
	「顆粒球吸着療法患者における単核球サイトカインの検討」 第47回日本透析医学会学術集会 (東京)、川村奈穂子、楠本宏司、小出滋久、 <u>村瀬正光</u> 、他8名 2002年7月
	「血液透析患者の下肢閉塞性動脈硬化症とインターロイキン6」 第47回日本透析医学会学術集会 (東京)、鹿野昌彦、川村奈穂子、 <u>村瀬正光</u> 、他8名 2002年7月
	「結節性病変、半月体形成を認めた原因不明のネフローゼ症候群の一例」 第32回日本腎臓学会西部学術大会 (和歌山)、富田亮、春日井雅美、川村奈穂子、 <u>村瀬正光</u> 、他8名 2002年10月

	「急性腎不全を呈したクリオグロブリン血症の3例」第32回日本腎臓学会西部学術大会（和歌山）、川村奈穂子、春日井雅美、小出滋久、村瀬正光、他8名2002年10月
	「PTRAにて腎機能の改善がみられた両側腎動脈狭窄の一例」第32回日本腎臓学会西部学術大会（和歌山）、春日井雅美、川村奈穂子、村瀬正光、他9名2002年10月
	「膀胱腸痙により代謝性アシドーシス、低カリウム血症を発症した1例」第32回日本腎臓学会西部学術大会（和歌山）、小出滋久、川村奈穂子、村瀬正光、他8名2002年10月
	「IgA腎症に対する扁桃摘出術+経口ステロイド治療の効果」第46回日本腎臓学会学術総会（東京）、富田亮、春日井雅美、藤井幹子、川村奈穂子、村瀬正光、他6名2003年5月
	「ANCA関連血管炎におけるsoluble adhesion moleculesの検討」第46回日本腎臓学会学術総会（東京）、川村奈穂子、春日井雅美、楠本宏司、藤井幹子、村瀬正光、他9名2003年5月
	「IgA腎症に対する扁桃摘出術+経口ステロイド治療の効果」第46回日本腎臓学会学術総会（東京）、久志本浩子、春日井雅美、川村奈穂子、藤井幹子、村瀬正光、他6名2003年5月
	「透析患者の閉塞性動脈硬化症（ASO）の進展」第48回日本透析医学会学術集会（大阪）、村瀬正光、他10名2003年6月
	「高機能透析膜による内分泌攪乱物質の除去」第48回日本透析医学会学術集会（大阪）、日比谷信、堀秀生、大橋篤、加藤政雄、村上和隆、富田亮、長谷川みどり、小出慈久、村瀬正光、他4名2003年6月
	春日井雅美、川村奈穂子、藤井幹子、村瀬正光、他7名「多臓器不全を伴う急性腎不全に対する血液浄化法の検討」第48回日本透析医学会学術集会（大阪）、2003/6
	「CAPD患者へのマキサカルシトールの腹腔内投与に関する検討」第48回日本透析医学会学術集会（大阪）、村上和隆、渡辺麻子、宮地ひろみ、春日井雅美、川村奈穂子、小出滋久、村瀬正光、他6名2003年6月
	「潰瘍性大腸炎に対するCytapheresisによる単核球サイトカイン産生能の変動」第48回日本透析医学会学術集会（大阪）、川村奈穂子、春日井雅美、藤井幹子、小出滋久、村瀬正光、他9名2003年6月
	「利尿剤と非ステロイド系消炎鎮痛剤により腎機能障害が進行したCrow-Fukase症候群の1例」第46回日本腎臓学会学術総会（名古屋）、春日井雅美、宮地ひろみ、渡辺麻子、川村奈穂子、藤井幹子、村瀬正光、他8名2003年10月
	「検診異常を契機に診断されたGitelman症候群の1例」第46回日本腎臓学会学術総会（名古屋）、川村奈穂子、渡辺麻子、宮地ひろみ、春日井雅美、藤井幹子、村瀬正光、他8名2003年10月
	「チクロピジン内服により誘発された」第46回日本腎臓学会学術総会（名古屋）、宮地ひろみ、渡辺麻子、春日井雅美、川村奈穂子、藤井幹子、小出滋久、村瀬正光、他10名2003年10月
	透析患者における閉塞性動脈硬化症（ASO）」第49回日本透析医学会学術集会（神戸）、村瀬正光、他11名「2004年6月
	「顕微鏡的多発血管炎に対するcytapheresisの有効性」第47回日本腎臓学会学術総会（栃木）、長谷川みどり、宮地ひろみ、渡辺麻子、春日井雅美、川村奈穂子、村瀬正光、他7名2004年6月
	「サルコイド様の肉芽腫性間質性腎炎をきたし慢性リンパ性白血病の1例」第34回日本腎臓学会西部学術大会（岡山）、西冨子、富田亮、久志本浩子、長谷川みどり、村上和隆、比企能之、杉山敏、渡邊正人、村瀬正光2004年10月
	「活動性ループス腎炎により著明なネフローゼ症候群を呈し、短期間で寛解した高齢男性の1例」第35回日本腎臓学会西部学術大会（長崎）、鳥羽貴子、村瀬正光、他1名2005年9月
	「血液透析後の高Ca血症の成因」第50回日本透析医学会学術集会（横浜）、川島司郎、鳥羽貴子、村瀬正光、他1名2005年6月
	「鎖骨下静脈留置カテーテルによる長期血液透析の経験」第50回日本透析医学会学術集会（横浜）、鳥羽貴子、村瀬正光、他1名2005年6月
	「透析患者におけるAPI高値症例の検討」第50回日本透析医学会学術集会（横浜）、村瀬正光、他3名2005年6月
	「血液透析後の高Ca血症の成因」第51回日本透析医学会学術集会（横浜）川島司郎、村瀬正光、他1名2006年6月
	「血液ガス分析で得られる電解質値の信頼性 血液検査及び血清生化学検査値との比較」第51回日本透析医学会学術集会（横浜）、上田亮平、前田純、大竹伸子、村瀬正光、他2名2006年6月
	「透析患者の終末期の現状について」仏教看護・ビハーラ学会第3回年次大会（千葉）、村瀬正光2007年8月
	「終末期における僧侶の関わりについて 仏教徒のアンケートから」第32回日本死の臨床研究会年次大会（札幌）、村瀬正光2008年10月
	「緩和ケア病棟における患者とその家族の宗教行為の参加について」仏教看護・ビハーラ学会第5回年次大会（京都）、村瀬正光、他4名2009年6月
	「緩和ケア病棟における患者とその家族の宗教行為の参加について」第14回日本緩和医療学会学術大会（大阪）2009年6月
	「ビハーラ病棟入院患者の宗教家が行う宗教行事の参加について」仏教看護・ビハーラ学会第5回年次大会（京都）2009年8月
	「長岡西病院ビハーラ病棟での宗教者の関わりー朝夕の勤行参加者からみえてくるものー」日本仏教社会福祉学会第44回大会（千葉）、村瀬正光2009年9月

MINOBUSAN Univ.

	「宗教家が参加している緩和ケア病棟における入院相談と入院のキャンセルの実態について」第33回日本死の臨床研究会年次大会（名古屋） 村瀬正光、他4名 2009年11月
	「仏教を背景とした緩和ケア病棟における利用者の期待と評価」第15回日本緩和医療学会学術大会（東京）村瀬正光、他4名 2010年6月
	「仏教を背景とした緩和ケア病棟における家族ケア」第15回日本緩和医療学会学術大会（東京）、村瀬正光、他4名 2010年6月
	「緩和ケア病棟における宗教施設・宗教家・宗教的行動について」第15回日本緩和医療学会学術大会（東京）、森田敬史、村瀬正光、他3名 2010年6月
	「宗教施設（仏堂）が持つスピリチュアルー緩和ケア病棟の遺族調査からー」第3回日本スピリチュアルケア学会（札幌）、村瀬正光 2010年9月
	「仏教を背景とした緩和ケア病棟における宗教的ケア」第34回日本死の臨床研究会年次大会（盛岡）、村瀬正光 2010年11月
	「A地区におけるがん疼痛に対する治療の現状 緩和ケア病棟への紹介状の処方から」第35回日本死の臨床研究会年次大会（千葉）、村瀬正光 2011年10月
	「がん治療におけるインフォームドコンセントのあり方について考えさせられた1例」第36回日本死の臨床研究会年次大会（京都）、阿波宏子、東口高志、伊藤彰博、村井美代、村瀬正光、他1名 2012年11月
	「症状制御ならびに環境整備によって在宅での看取りが可能となった超高齢・未告知の終末期がんの1例」第36回日本死の臨床研究会年次大会（京都）水野聡己、東口高志、伊藤彰博、村井美代、村瀬正光、他1名 2012年11月
	「終末期がん患者の症状緩和に対する「整膚」の有用性の検討」第18回日本緩和医療学会学術大会（横浜）、早川貴子、徐堅、蔡晶、中野保子、長尾ユリコ、伊藤美智子、東口高志、村瀬正光、他1名 2013年6月
	「藤田保健衛生大学における緩和ケア卒前・卒後教育」第18回日本緩和医療学会学術大会（横浜）、森直治、東口高志、伊藤彰博、岩田正己、大原寛之、村井美代、都築則正、村瀬正光、他4名 2013年6月
	「藤田保健衛生大学における緩和ケア」第18回日本緩和医療学会学術大会（横浜）、森直治、東口高志、伊藤彰博、岩田正己、大原寛之、村井美代、都築則正、村瀬正光、他4名 2013年6月
	佐々木ひと美、丸山文夫、東口高志、内藤宏、森直治、伊藤彰博、村井美代、村瀬正光、他6名「卒後教育の果たす役割 緩和医療の卒後教育について 藤田保健衛生大学におけるPEACEプログラムによる卒後教育の取り組み」第18回日本緩和医療学会学術大会（横浜）。2013年6月
	早川貴子、徐堅、蔡晶、村瀬正光、他5名「補完代替療法の現状と展望 「整膚」の実際と緩和ケア病棟における活動」第18回日本緩和医療学会学術大会（横浜）、2013/6
	「悪液質を制御する がん悪液質における脂質代謝の検討 脂肪乳剤投与とトリグリセリド値から」第18回日本緩和医療学会学術大会（横浜）、森直治、東口高志、伊藤彰博、大原寛之、村瀬正光、他2名 2013年6月
	「緩和ケアNST（栄養サポートチーム）の役割 終末期がん患者におけるトランスサイレチン測定の有用性」第18回日本緩和医療学会学術大会（横浜）、阿波宏子、東口高志、伊藤彰博、丸山文夫、村瀬正光、他2名 2013年6月
	「終末期がん患者の栄養補給に関する家族の意識調査」第37回日本死の臨床研究会年次大会（松江）、森直治、東口高志、村井美代、村瀬正光、他2名 2013年11月
(シンポジウム)	パネルディスカッション「ビハラの現状とこれから」、仏教看護ビハラ学会 第7回年次大会、京都、2011年8月28日
	シンポジウム「スピリチュアルペインースピリチュアルペインとチャプレン（病院付きの宗教家）」、第17回緩和医療学会 学術総会、神戸、2012年6月
	シンポジウム「スピリチュアルペイン再考ー緩和ケア病棟における宗教家の活動の現状についての質的研究」、第18回日本緩和医療学会 学術大会、横浜、2013年6月
講演等	
(単独)	「がん診療に関わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」（平成20年4月1日付け健発第0401016号厚生労働省健康局長通知）にのっとりた研修会 みずほ在宅支援クリニック 2018年4月
	第3回長岡赤十字病院「がん診療に携わる医療者のための緩和ケア研修会」講師（地域連携） 2011年9月
	緩和ケア研修会 in 柏崎 2012 講師（がん疼痛） 2012年2月
	平成24年度名古屋第一赤十字病院緩和ケア研修会 講師 2012年8月
	第11回 藤田保健衛生大学病院緩和ケア研修会 講師（呼吸困難感） 2013年5月
	第12回 藤田保健衛生大学病院緩和ケア研修会 企画責任者 2013年7月
	「長岡西病院ビハラ病棟の現状」、第3回魚沼地区学術講演会、新潟、2009年12月5日
	「ビハラ病棟の現状と課題」、第47回中越緩和ケア懇談会、新潟、2010年1月18日

MINOBUSAN Univ.

	「終末期における医療と宗教」、日蓮宗ビハーラ・ネットワーク ビハーラ活動実践講座、東京、2010年1月29日
	「終末期における医療と宗教」、日蓮宗ビハーラ・ネットワーク ビハーラ活動実践講座、東京、2011年2月8日
	「自殺・死別の悲嘆への精神的ケアについて ―知っておきたい精神疾患の基礎知識―」、日蓮宗ビハーラ・ネットワーク総会、東京、2011年7月6日
	「終末期医療における日蓮宗僧侶としての役割」、日蓮宗東京西部社会教化事業協会、東京、2011年12月6日
	「医療現場における宗教の関わり―医療者と宗教者の視点から」、悲嘆学研究所、東京、2012年1月21日
	「終末期における医療と宗教」、日蓮宗ビハーラ・ネットワーク ビハーラ活動実践講座、東京、2012年1月29日
	「終末期医療と看取りの現状」、日蓮宗名古屋宗務所 教師大会、名古屋、2012年5月29日
	「いのちに寄り添う―終末期医療の現場（ビハーラ病棟）から―」、岩倉市教会、愛知、2012年6月12日
	「カウンセリング研修会」、日蓮宗名古屋社会教化事業協会、名古屋、2014年1月13日
	「カウンセリング研修会2」、日蓮宗名古屋社会教化事業協会、名古屋、2014年1月20日
	「出生前診断と自死」、日蓮宗人権擁護委員会 研修会、日蓮宗宗務院 東京、2014年6月23日
	「終末期医療の現場の現状 ―僧侶と医師の視点から―」、日蓮宗布教専修師会 総会、名古屋、2014年6月24日
	「傾聴の基礎と実践」、日蓮宗尾張宗務所 教師大会、愛知、2014年6月30日
	「つらい気持ちを受け止める ―寺庭婦人に必要な心理学・医学的知識―」、日蓮宗福井中部寺庭婦人会 研修会、福井、2014年7月7日
	「いのちについて考える―死生学入門―」、愛知県農業土木測量設計技術研究 企画研修会、名古屋、2014年9月17日
	「いのちに寄り添う ―死生学入門―」、日蓮宗尾張社会教化事業協会、愛知、2014年10月6日
	「いのちに合掌 いのちに寄り添う―死生学入門―」、日蓮宗三重宗務所 教師大会、三重、2014年10月17日
	「死生学入門」、身延山大学 甲府公開講座、山梨、2015年11月/28日
	「認知症の基礎的知識と仏教的なとらえ方」、日蓮宗秋田県教師・檀信徒・寺庭婦人研修会、秋田、2015年12月14日
	「いのちに合掌 こころに寄り添う―死生学入門―」、日蓮宗兵庫西部寺庭婦人会 研修会、兵庫、2016年2月22日
	「終末期における医療と宗教」、日蓮宗ビハーラ・ネットワーク ビハーラ活動実践講座、東京、2019年1月23日
(研究会)	日本死の臨床研究会 2011年度研究助成獲得(研究課題:「わが国の緩和ケア病棟における宗教家の活動の現状」) 2011年10月
	日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団 2012年度「ホスピス・緩和ケアに関する調査・研究」助成獲得(研究課題:「緩和ケア病棟における宗教家の活動の現状についての質的研究」) 2012年4月
	平成25年度 藤田学園教員研究助成獲得(研究課題「わが国の緩和ケア病棟における宗教家の活動の現状」) 2013年4月
作成した教科書・教材	『千代見草』(江戸時代の臨終行儀書の現代語訳)、『ビハーラノート』(宗教や医療の諸問題をまとめた教材)を作成。講義に使用するオリジナルのパワーポイントや事例検討に使用する資料も毎年更新し、講義の充実に努めている。 2014年4月～現在に至る
	『ビハーラノート』日蓮宗ビハーラ・ネットワーク 2011年10月
	「医療現場における宗教者(チャプレン)の活動」『緩和ケア』22巻3号(pp.225~228) 2012年5月
	「緩和ケア病棟における宗教者の活動の現状―ビハーラにおけるビハーラ僧」『日本仏教社会福祉学会年報』第43号(pp.1~18) 2012年10月
論評	「生老病死と向き合う あなたのそばに」日蓮宗新聞、2016年1月20日
	「生老病死と向き合う あなたのそばに」日蓮宗新聞、2015年8月20日
	『千代見草』から現代のターミナルケアを考える『法華』通巻1081号 第101巻第8号、2015年8月
	「生老病死と向き合う あなたのそばに」日蓮宗新聞、2015年3月20日

	「生老病死と向き合う あなたのそばに」日蓮宗新聞、2014年10月20日
	「生老病死と向き合う あなたのそばに」日蓮宗新聞、2014年5月20日
	「言葉のえにし」日蓮宗新聞、2014年1月10日
	「生老病死と向き合う あなたのそばに」日蓮宗新聞、2013年12月20日
	「言葉のえにし」日蓮宗新聞、2013年10月10日
	「生老病死と向き合う あなたのそばに」日蓮宗新聞、2013年7月20日
	「生老病死と向き合う あなたのそばに」日蓮宗新聞、2013年2月20日
	「緩和ケア病棟における宗教者の活動の現状ービハラーにおけるビハラー僧」『日本仏教社会福祉学会年報』第43号 (pp.1~18)、2012年5月
	「医療現場における宗教者(チャプレン)の活動」『緩和ケア』22巻3号 (pp.225~228)、2012年5月
	「持透析患者と緩和ケア」『緩和医療学』11巻2号 (pp.121~127) 2009年4月
研究助成	日本死の臨床研究会 2011年度 教育・研究助成金獲得 研究課題「わが国の緩和ケア病棟における宗教家の活動の現状」、2012年11月
	(公財)日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団 2012年度「ホスピス・緩和ケアに関する調査・研究」助成獲得 研究課題「緩和ケア病棟における宗教家の活動の現状についての質的研究」、2012年4月
	平成25年度 藤田学園教員研究助成獲得 研究課題「わが国の緩和ケア病棟における宗教家の活動の現状」、2013年4月
その他	緩和ケアの基本教育に関する指導者研修修了 第1111号 (平成20年4月1日付け健発第0401016号厚生労働省健康局長通知に準拠)
	緩和ケア研修会 in 柏崎2012 ファシリテータ(地域連携)(平成20年4月1日付け健発第0401016号厚生労働省健康局長通知に準拠)、2012/1
	平成24年度 名古屋第一赤十字病院 緩和ケア研修会 ファシリテータ(がん疼痛)(平成20年4月1日付け健発第0401016号厚生労働省健康局長通知に準拠)、2012/8
	第11回 藤田保健衛生大学病院緩和ケア研修会 ファシリテータ(呼吸困難感)(平成20年4月1日付け健発第0401016号厚生労働省健康局長通知に準拠)、2013年3月
	第12回 藤田保健衛生大学病院緩和ケア研修会 企画責任者(平成20年4月1日付け健発第0401016号厚生労働省健康局長通知に準拠)、2013年6月

2020/01/28 現在